

平成 28 年度 第 2 回みんなで支える長野地域会議

[開催日時] 平成 29 年 3 月 10 日(金)

[開催場所] 会 議：長野合同庁舎 501 会議室

[出席委員] 7 名

[会議事項]

- 1 これまでの県民会議・地域会議での議論
- 2 平成 28 年度長野県森林づくり県民税活用事業の実績見込、平成 29 年度長野県森林づくり県民税活用事業の計画について及び平成 29 年度長野県森林づくり県民税活用事業の概要について
 - ・ H29 の木育推進事業の予算が減っているが、良い事業だと思うが減った理由は。(委員)
予算編成についての詳細は把握していないが、各地域の要望を積み上げる方式に変わってきていることもあると思う。(事務局)
 - ・ 森林づくり推進支援金の事業はもっと支援をした方がいい。(委員)
事例を紹介する等していきたい。(事務局)
 - ・ 里山で多いクヌギ林での薪炭林整備に対応する補助事業はないか。(委員)
里山活用推進リーダー育成事業やみんなで支える里山整備事業、地域で進める里山集約化事業が活用できる。また、みんなで支える里山整備事業や信州の木活用モデル地域支援事業も活用できる場合がある。(事務局)
 - ・ 地域のランドデザインを描ける人の育成が大事だと思うが、里山活用推進リーダー育成事業の他にはないか。(委員)
事業としては少ないが、関連団体と相談しながら対応していきたい。(事務局)
 - ・ 地域から森林整備についていろいろな要望があるが、現状の補助制度では対応できない場合がある。森林税活用事業など要件を広くして対応できるようにならないか。(委員)
地域発元気づくり支援金など工夫して使える場合もある。また、森林税活用事業について平成 30 年以降の制度設計に向け、県に御意見として伝える。(事務局)
 - ・ 森林づくり推進支援金の計画に盛り込むよう市町村にお願いしても、すでに計画が出来ていて対応いただけないので、別枠で対応できる制度ないか。(委員)
市町村への提案は早めをお願いしたい。また、県に御意見は伝えたい。(事務局)
- 3 平成 29 年度森林づくり推進支援金事業・木育推進事業の計画について

- ・水源林公有林化支援事業について質問（委員）
回答（事務局）
- ・採種育苗事業など研究費用に森林税が使えないか。
税事業だけに関わらず対応している。（事務局）

[意見交換]

- 1 町村会から森林税の継続についてアンケートをとった。3月3日が締切りだった。
58町村のうち38町村より回答があり、36町村が継続希望（94.7%）、2町村が廃止を希望していた。
制度に対する意見もいろいろあり、荒れている竹林整備などに使えたら、といった意見もあった。
町村会から経過など報告あると思うが、情報提供まで。
（委員）
- 2 長野管内の森林所有で9割以上が1ha未満の小規模所有者と聞いている。
集約化することでスピード化、効率化が図られることは大変よく分かる。
ただ、夢みたいな話だが、小さな山林を所有している皆さんが家庭菜園的な山林経営できないか。
ウチの山林はこうだ。俺はスギをこう育てた。ケヤキをこう育てた。など所有者として、自分の山林に手を加えて、誇りに思えるような雰囲気を作れないか、と考えている。
そうすることで、地域のランドデザインを描けるようないい案が出てくる気がする。
（委員）